

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7 年 8 月 27 日
11時 40分受付 ①番

令和 7 年 8 月 27 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 後藤 理恵

質問事項

1. 専決処分について

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

地方自治法において、長(市長)は執行機関として、基本議会で決めたことしか執行することができない。しかし、市長は一定の場合に議決を経ずに、処分をすることができる。これを専決処分と言う。専決処分には、法定の専決処分(地方自治法第179条)と議会の委任に基づく専決処分(地方自治法第180条)との2種類がある。本市では、議会の委任に基づく専決処分のほか、本来議会の議決によって執行されるべき市の予算の補正において、地方自治法第179条第1項の規定によって専決処分されている部分は少なくない。現状を踏まえ、地方自治法第179条について具体的にどのような要件があるのか、またその規定によって専決処分される理由等について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 地方自治法第179条は具体的にどのような規定なのかを問う。
- (2) 本市においての地方自治法第179条第1項の規定によって専決処分される主な理由について問う。
- (3) 専決処分による予算の減額補正の主なものと考え方について問う。
- (4) 専決処分による予算の増額補正を行う際、特に必要とされる客観性について問う。
- (5) 今後専決処分を行う上での改善点について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 7年 8月 27日
9時 13分受付 ②番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 27日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋間 順平

質問事項

1. 新庁舎建設に向けての市の考えを尋ねる 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

市庁舎は古いもので63年経過をされていて、鉄筋コンクリート構造物、耐用年数60年を経過しており、建物躯体や電気設備、配管等の老朽化が深刻な状況で、維持管理費は増大する傾向であり、市の財政を圧迫している。また、庁舎が分散していて、窓口サービス、業務効率の低下や、バリアフリーへの対応不足になっている。市民、利用者、職員の安全性を脅かす可能性があるため、早急な庁舎の建替えが必要である。

令和6年4月の機構改革で、新公共マネジメント推進課を新設され、庁内で庁舎建設検討委員会を設置し、課題を含めた基本的構想を検討されている件と、令和7年9月議会に小郡市庁舎建設審議会の設置が上程されている件について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市長所信表明中にある、小郡市庁舎建替えについて、市長の考えを尋ねる。
- (2) 令和7年度施政方針中にある、公共施設マネジメントへの挑戦について市長に尋ねる。
- (3) 小郡市庁舎建設審議会について尋ねる。
 - ・ 審議会の期間について問う。
 - ・ 審議会委員の任期について問う。
 - ・ 建設候補エリアの検討を行うのか。
 - ・ 庁舎建設の基本方針に関することについて、いつまでに答申を求めるのか。
- (4) 概算事業費について検討を行うのか。
- (5) 民間活力の導入 (PPP/PFI) を活用するのか。
- (6) 新庁舎にどのような機能を求めるのか。
 - ・ 来庁者の利便性を高めるための機能について尋ねる。
 - ・ 行政事務を効率的に行うための機能について尋ねる。
 - ・ 耐震性の確保について尋ねる。
 - ・ 防災拠点としての機能について尋ねる。
 - ・ 災害対策本部としての機能と整備について尋ねる。
 - ・ 高度情報強化に対応するための機能について尋ねる。
 - ・ 環境と共生するための機能について尋ねる。
 - ・ 会議室・書庫・倉庫等の整備について尋ねる。
 - ・ 駐車場・駐輪場の整備について尋ねる。

質問事項

2. 学校支援員に関して問う

【補助資料 有・**無**】（教育長）

質問要旨（課題・問題点等）

学校支援員の方に関して、幅広く多くの方に学校支援員を行って頂きたいということで、学校支援員の方の勤務形態が令和6年度から短縮勤務時間に変更になっている。

令和6年度について、学校支援員の方の採用人員は、多く採用できたか。また、令和5年度と令和6年度の勤務時間と人員について問う。

令和7年度の採用人員は何名か、また、採用要領について問う。

学校支援員について、学校には十分に配置されているのか問う。

質問明細（具体的に）

- （1）令和5年度と令和6年度の勤務時間と人員について問う。
- （2）令和7年度の採用人員は何名か。
- （3）新たな勤務形態の厚生年金保険加入について問う。
- （4）採用要領と採用手順・方法について尋ねる。
- （5）学習支援員の勤務時間の短縮で、児童・生徒に影響がなかったのか。
- （6）他市の採用要領について調査されたのか。

①(一般・代表)質問通告書

令和 7年 8月 20日
10時 3分受付 1番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 20日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 高木 良郎

質問事項

1. ふるさと納税の今後の対策を問う

【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

ふるさと納税が令和6年度は令和5年度に比べて2億円程度減っているが、令和3年度以降の納税額の推移と納税額減少に対する対策とその成果を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 令和3年度以降のふるさと納税額と経費の推移について問う。
- (2) 令和3年度以降他自治体への寄付額と実質収支の推移について問う。
- (3) 令和3年度以降の納税額減少の原因分析と、その対策と成果について問う。
- (4) 今後の方針について問う。

質問事項

2. 小郡市教育支援センターりんく小郡の設立の経過と現状を問う

【補助資料 有・**無**】(教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

不登校対策としてのりんく小郡の取り組みの経過と課題について、年々増大する不登校の子ども達への対応含めて問う。

施設面での課題(老朽化)と地域との連携を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 不登校の生徒・児童数の5年ごとの推移とりんく小郡への入級者数の推移について問う。
- (2) 施設の老朽化の現状について問う。
- (3) 職員体制の充実の方向性について問う。
- (4) 今後のりんく小郡の有り方を問う。

(一般代表)質問通告書

令和 7年 8月 20日
13時 08分受付 2番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 20日

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

会派名
小郡市議会議員 新原 善信

質問事項

1. 小郡市こども計画の実施状況と課題について 【補助資料 有・**無**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は、令和7年3月に小郡市こども計画を策定した。このなかで基本方針と大切にしたいポイントおよび基本姿勢が述べられている。これらに基づき具体的にどのような取り組みがなされているか。また、今後取り組むべきことは何かを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 大切にしたいポイントの「こども・若者のために整えたい環境」とはどのようなものか。
- (2) こども・若者・家庭の声、状況、困りごと、願いをどのような方法でつかむか。
- (3) 様々な状況にある「こども・若者・家庭」支援のために関係機関の連携をどうするか。
- (4) 地域でのこども・若者・家庭の見守りや居場所づくりをどう進めるか。

質問事項

2. 小郡市食料・農業・農村基本計画について 【補助資料 有・**無**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

近年の我が国農業を取り巻く環境は、温暖化や輸入農産物の価格高騰、米不足、担い手の減少・高齢化など厳しい状況にある。一方で市民の食料生産に対する関心や意識は高まっている。小郡市は平成27年度を初年度とする、小郡市食料・農業・農村基本計画を策定し、社会環境の変化に対応した持続可能な農業を推進してきた。現在第2期計画が策定中である。このような状況と第1期計画の総括を踏まえ、第2期計画では何を指しどう取り組むのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 第1期計画で達成できたこと、できなかったことの分析はどうか。
- (2) 地元での消費促進・地産地消、食の安全性確保にどう取り組むか。
- (3) 農業経営の収益力アップと担い手確保にどう取り組むか。
- (4) 国は農地の集積、法人化、スマート農業を推進しているが、小規模農業者にはどう支援していくか。
- (5) 農村地域の活性化と人口維持にどう取り組むか。

(**一般**代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 20日
13時 9分受付 3番

令和 7年 8月 20日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田 典彦

質問事項

1. 2026年度から実施のこども誰でも通園制度について【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

制度は親の就労要件を問わず保育施設が利用できる。対象は保育施設に通っていない生後6か月から3歳未満のこども。制度の利用により、こどもが同世代と接する機会を得て発育をうながすだけでなく、親が保育者と関わることで育児負担の軽減、孤独感の軽減も期待されている。

小郡市として現在、どのように準備をし、受け入れ側の期待(メリット)又は課題などを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 保育施設に通っていない生後6か月から3歳未満の人数と割合を問う。
- (2) 期待される効果、一方で懸念材料、課題を問う。
- (3) 受け入れ施設の状況を問う。
- (4) 予約方法などの手順、または開始までのスケジュールを問う。

質問事項

2. 公立小中学校の体育館への空調設備設置について【補助資料 **有**・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

公立小中学校の体育館はこどもたちの教育の場であり、災害時には地域の避難所としても重要な役割を担う。8月には鹿児島、熊本、福岡地方では記録的な大雨で多くの被害が発生した。また、今年も35℃を超える猛暑が続き熱中症対策の強化も必要だ。

このような異常気象において政府は、避難所となる学校の体育館への空調設備設置を促進すると発表した。小郡市として今後の設置に向けた取り組みを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 公立小中学校の体育館の空調設備設置の現状を問う。
- (2) 空調設備整備事業(空調設備整備臨時特例交付金)を国は追加募集を開始した。これを活用した公立小中学校の体育館の空調設備整備の取り組みを問う。
- (3) 夏場などに避難所として体育館を使用する場合の対策はどのように考えているのかを問う。

■ 公立学校の体育館等の空調(冷房)設備設置状況について

空調(冷房)設備※1の設置状況

令和7年5月1日時点

学校種	種類	棟数	設置数(棟数)		設置率		前回R6 設置率 [上昇率]	
			うち 避難所 指定校分	うち 避難所 指定校分	うち 避難所 指定校分	うち 避難所 指定校分		
小中学校	体育館 及び 武道場	31,830	29,678	7,236	7,044	22.7%	23.7%	18.9% [+3.8%]
小学校 ※2	体育館	17,882	17,220	3,934	3,876	22.0%	22.5%	18.0% [+4.0%]
中学校 ※2	体育館 及び 武道場	13,948	12,458	3,302	3,168	23.7%	25.4%	20.0% [+3.7%]
特別支援学校	体育館	1,029	579	525	307	51.0%	53.0%	40.8% [+10.2%]

・公立小中学校の
全国平均空調(冷房)
設備設置率

※1 冷房機能を有した設備(スポットクーラーを含む)

※2 小学校には義務教育学校の前期課程を含む。

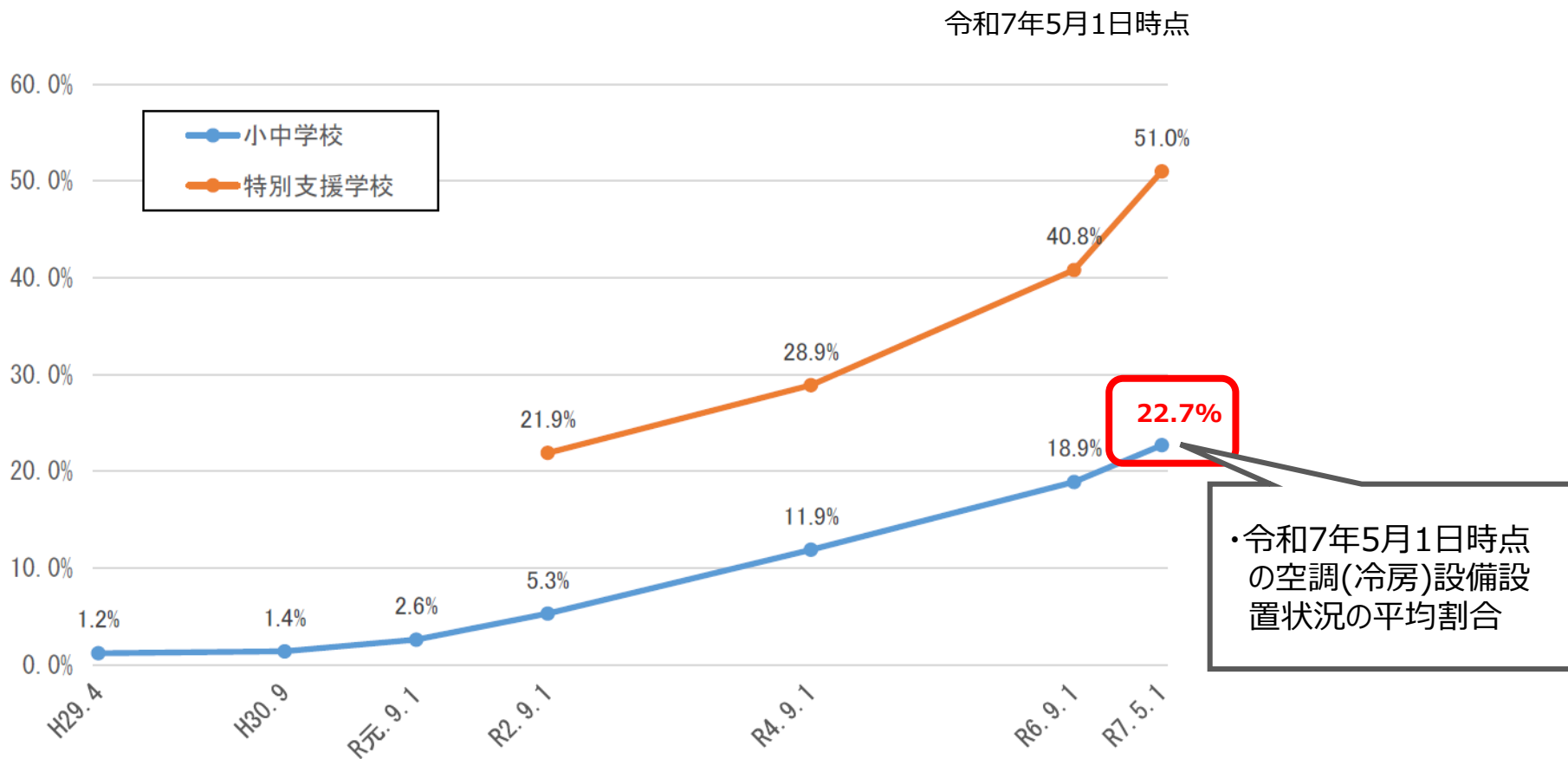
中学校には義務教育学校の後期課程・中等教育学校の前期課程を含む。

引用：文部科学省 著 “公立学校施設の空調（冷房）設備設置状況”

公立学校の体育館等の空調設置状況について

■ 公立学校の体育館等の空調(冷房)設備設置状況について

公立学校の体育館等の空調(冷房)設備設置状況の推移

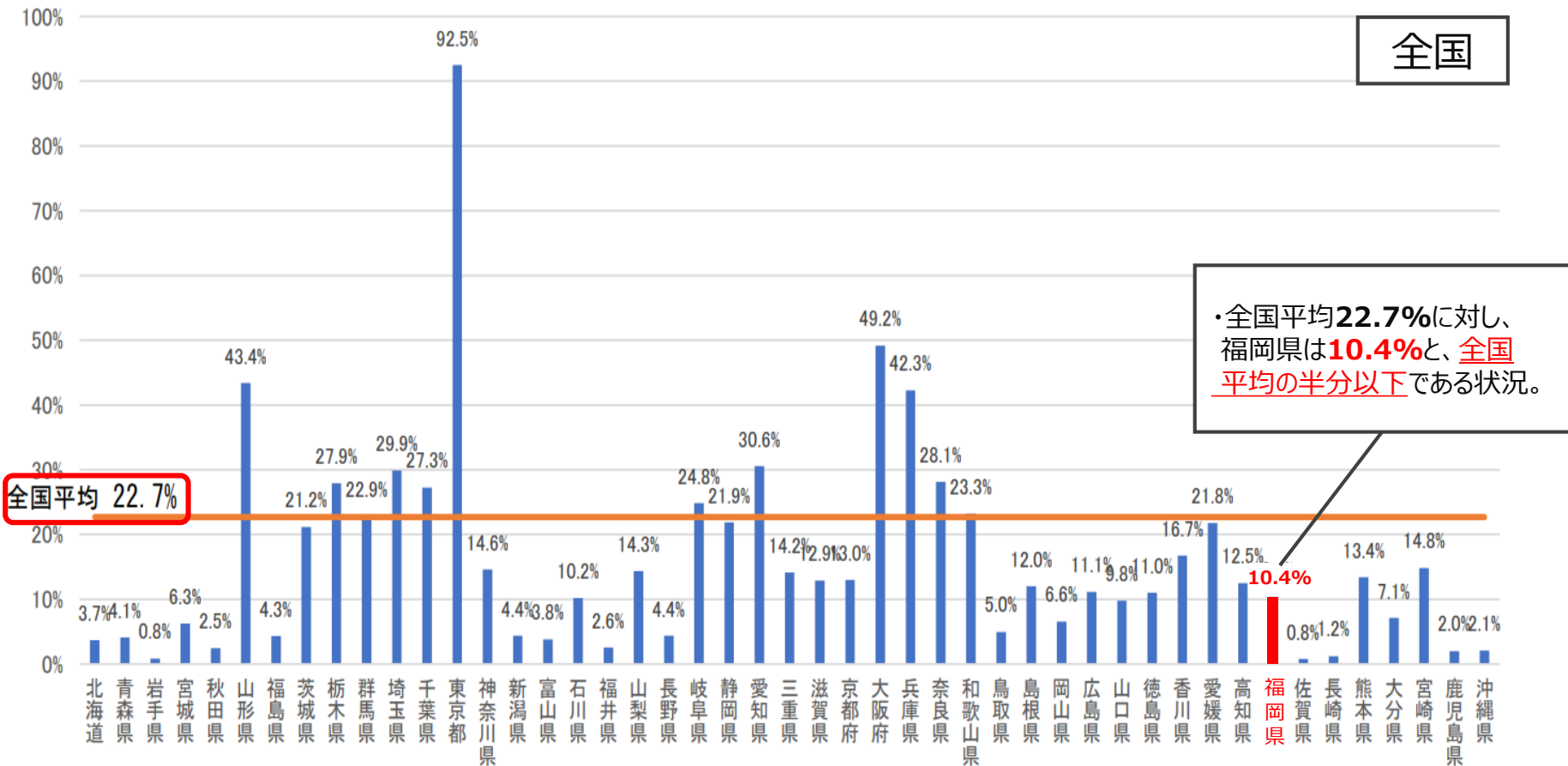


引用：文部科学省 著 “公立学校施設の空調（冷房）設備設置状況”
[公立学校の体育館等の空調設置状況について](#)

■小中学校の体育館等の空調（冷房）設備設置状況グラフ

空調(冷房)設備設置状況(小中学校)

令和7年5月1日時点



引用：文部科学省 署 “小中学校の体育館等の空調（冷房）設備設置状況グラフ”

[設置者別グラフ](#)

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 20日
16時 2分受付 4番

令和 7年 8月 20日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 深川 博英

質問事項

1. 通学路の変更・整備について

【補助資料 有・**無**】 (市長・教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

住宅開発に伴い児童数が増加傾向にある校区では通学路の安全確保が重要である。
通学路の変更は可能なのか、又整備については各行政区からの要望への対応について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 通学路の決定と変更について問う。
- (2) 通学路の整備について問う。

(~~一般~~代表)質問通告書

令和 7年 8月 21日
8時 24分受付 5番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和7年8月21日

会派名 みらいの会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒岩 重彦

質問事項

1. 民生委員児童委員の担い手不足解消に向けた取組について【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

民生委員児童委員は、家庭訪問や見守りを中心に地域福祉活動など仕事内容も多岐にわたっており、加えて児童虐待や災害の備えなど私たちの生活を取り巻く様々な問題の解決に向けて活動されており、地域にとって大変重要な役割を果たしている。

しかし、民生委員児童委員自身の高齢化や業務の負担増等により担い手不足という問題に直面しており、本市においても現在欠員が発生している状況である。

地域の見守り役を担う民生委員児童委員に欠員が出てしまうことで、支援の手が行き届かなくなってしまうことを防ぐ意味でも、担い手不足解消に向けた取組が必要であると考えているが、市内における定員充足率に対する現状と今後の課題についてこれからどのように取り組んでいくのか見解を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 小郡市の定数及び選任の状況について問う。
- (2) 委員の高齢化について問う。
- (3) 委員の欠員がある地区への対応について問う。
- (4) 負担軽減のための市としての対策について問う。

2. 遠距離通学児童の通学の在り方並びに支援の要件緩和について【補助資料 有・~~無~~】(教育長)

質問要旨（課題・問題点等）

児童生徒の通学距離に関して国は、「通学距離が小学校にあつてはおおむね4 km以内、中学校にあつてはおおむね6 km以内であること」という基準を50年以上も前に定めている。自宅から学校までの片道距離がその基準以上ある場合を遠距離通学児童生徒と位置づけ、各自治体は通学費補助金などの支援をこれまで行ってきた。

しかし、近年では遠距離通学による児童生徒の心身に与える影響や通学手段、通学の安全確保などの観点からそれぞれの地域の事情を踏まえて、その基準の見直しを行っている自治体が増えてきている。特に昨今の異常気象や車両が急増している中、公共交通手段のない小学校低学年の児童にとっては、長距離の通学が心身の負担となっており、また保護者からの送迎等による経済的負担も発生しており、支援の要件緩和が必要と考えるが市としての見解を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 遠距離通学が児童に与える影響について問う。
- (2) 遠距離通学支援の要件緩和について問う。
- (3) 保護者等の送迎やデマンドタクシーを利用した通学の在り方について問う。
- (4) 夏季期間限定での熱中症対策の通学支援について問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7 年 8 月 21 日

13 時 42 分受付 6番

令和 7 年 8 月 21 日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐々木 益雄

質問事項

1. ごみ分別収集について

【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

ごみ収集は廃棄物処理工程の一つであり、ごみを回収して清掃工場や埋立処分が行われる場所へと運搬するなど、ごみ収集には地方自治体による廃棄物転換プログラムの取組の一環であり、厳密には廃棄物でないリサイクル可能なものの道路脇収集も含まれる。ごみ収集は民間へ委託しごみ収集作業員が家庭やオフィスから出る様々な種類のごみを収集し、それを適切に処理する施設へ運ぶなど地域ごとに設定された日程に合わせて収集している。市のごみ分別収集の実態について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 分別の種類と分別方法について問う。
- (2) ごみ袋の種類について問う。
- (3) 1年間のごみ収集実績について問う。
- (4) 生ごみ処理機の補助について問う。
- (5) リサイクルステーションについて問う。
- (6) リサイクル品目について問う。
- (7) 環境衛生関係団体育成事業の役割について問う。
- (8) プラスチック分別収集について問う。

令和 7年 8月 27日
8時 54分受付 8番

(一般)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 27日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 田中雅光

質問事項

1. ひきこもり支援の推進について 【補助資料 有 (無)】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

就職氷河期や不登校、いじめ等を起因として、自宅に引き込んでしまった方々が、生き辛さを感じながら長期間、社会から孤立した状況が続き、近年「8050 問題」として注目を集めた。自宅を離れ、外の居場所や就労へ移行させ社会へと踏み出すきっかけを作ることが大切だ。以前にも質問しているが、その後の調査や支援体制について状況を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) ひきこもりの現状について問う。
- (2) これまで取り組んだ支援について問う。
- (3) 相談窓口の活用状況について問う。
- (4) 就労に向けた支援について問う。
- (5) 就学児童生徒の支援について問う。
- (6) 対象者の居場所づくりについて問う。
- (7) 家族支援について問う。
- (8) アウトリーチ支援について問う。

(~~一般~~代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 27日
8時 57分受付 9番

令和 7年 8月 27日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 _____ 小坪 輝美

質問事項

1. 日本語指導を必要とするこども・保護者への支援について

【補助資料 有・~~無~~】(市長・教育長)

質問要旨(課題・問題点等)

全国的に公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数は約10年間で1.9倍に増えている。今後、益々増えてくることが予測される。小郡市においても、同じような傾向にあると思われる。地域社会の国際化が進む中、日本で学ぶ外国人のこどもの学びの保障や適切な支援を享受することができるようにすることが必要であると考えます。また、就学前のこどもにおいても同様である。そこで、小郡市における支援のあり方や学びの保障について問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 日本語指導を必要とするこども(0~15歳)や保護者への学びや支援について問う。
- (2) 課題や今後の取り組みについて問う。

質問事項

2. 自治体DXの進捗状況について

【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨(課題・問題点等)

小郡市において、令和4年に『小郡市DX推進方針』を策定し取り組みを進めている。現在、証明書等のコンビニ交付や公共施設等、取り組みが進んでいるが、進捗状況がよくわからない。そこで、小郡市における自治体DXの進捗状況や今後の取り組みについて問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 市民の利便性向上のための取り組みについて問う。
- (2) 業務の効率化と業務負担の軽減のための取り組みについて問う。
- (3) 現在の課題と今後の方向性について問う。

（一般）代表）質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 27日
8時 57分受付 10番

令和 7年 8月 27日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 川野 悦子

質問事項

1. あすてらすトレーニング室のトレーニング機器の増設について 【補助資料 有・**無**】 （市長）

質問要旨（課題・問題点等）

総合保健福祉センター「あすてらす」には、歩行専用プールやトレーニング室が設置されている。特にプールは、高齢者を中心に利用されている。また、トレーニング室では各種運動プログラムでのレッスンが開かれるなど、市民の健康増進の場として役割を果たしている。

一方で、トレーニング室における機器は限られており、運動習慣を身につけたい方、筋力や体力の維持を目指す方、仕事や家事の合間に短時間で効率的に体を動かしたい方など、多様なニーズに十分に対応しているとは言いがたい。市民の健康づくりは、生活の質の向上や生きがいづくりにつながるだけでなく、介護予防・医療費の抑制・地域活力の維持にも直結する重要な課題である。安心して体を動かせ、健康を促進させる場所を充実させることは、「健康寿命の延伸」や「生涯スポーツの推進」に資する取り組みとなる。

よって、本市においてトレーニング室のさらなる充実に向けて機器の増設について問う。

質問明細（具体的に）

- （1）トレーニング室の利用状況と現状の課題について問う。
- （2）市民の健康寿命延伸や介護予防の観点から運動環境の充実が果たす役割について問う
- （3）市民が利用しやすく生活の質の向上につながるトレーニング室の機器増設について問う。

質問事項

2. アライグマの被害と対策について 【補助資料 有・**無**】 （市長）

質問要旨（課題・問題点等）

アライグマは特定外来生物に指定されており、現在、全国的に農作物被害や生活環境への悪影響が深刻化している。農業被害に加え、家屋侵入による生活被害や、狂犬病・レプトスピラ症など感染症の媒介リスクも懸念される。

本市においても市民から被害や目撃の声が寄せられており、今後さらなる拡大が予想される中で、現状を正確に把握し、効果的な対策を講じることが必要であると考えます。

そこで、本市におけるアライグマ被害の現状と対策について問う。

質問明細（具体的に）

- （1）本市におけるアライグマ被害の現状について問う。
- （2）福岡県との連携状況について問う。
- （3）本市の具体的対策の現状を問う。
- （4）本市の今後の対策強化について問う。

（一般・代表）質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 27日
9時 15分受付 11番

令和 7年 8月 27日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場 美紀

質問事項

1. 河北苑の現状と将来に向けた市民サービスの確保について

【補助資料 有・無】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

一市一町で運営している火葬場「河北苑」については、市民の最後を見送る大切な公共施設であると同時に、今後の高齢化や社会情勢の変化に伴い、その役割がますます重要となることが想定される。

しかしながら施設は建設から年月が経過し老朽化が進み、昨年度は空調設備が使用できず市民サービスの面で課題が顕在化している。また孤独死の増加や高齢化ピーク（2045年前後）に備えた霊安室の確保など、将来需要への対応も求められる。

河北苑に関する現状の課題認識と今後の方針を伺い、市民が安心して利用できる施設のあり方について市の考えを問う。

質問明細（具体的に）

- （1）需要増加に対応するための施設整備等についてどのように検討しているか。
- （2）孤独死の増加が予想される中、河北苑が果たすべき役割をどう考えているか。
- （3）老朽化の現状をどのように評価しているか。
- （4）利用者に尊厳ある環境を提供するための、短期・中期の改善計画について問う。
- （5）管理業務委託と市民サービスについて問う。

質問事項

2. 市民協働による「まちづくりの推進」について

【補助資料 有・無】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

市民の自発的な地域課題解決やまちづくり活動を支援する「市民提案型事業」は、市民の多様な視点やアイデアを市政に反映させるうえで重要な役割を担っている。まちづくり活動は一定の効果が見えていると感じるが、地域課題の解決という点において、どの程度の効果を上げているか検証が必要であると考えます。

そこで、市民の持つ力を最大限に活用し、必要とされる事業を創出するために、市が抱える課題や今後注力すべき分野を提示し、市民から解決策を募る「行政提案型」の導入について市の見解を問う。

質問明細（具体的に）

- （1）市民提案型事業の成果や課題についてどのように把握しているか。
- （2）公募プロセスの現状と課題、より多くの市民の自由な発想を引き出すための改善策について問う。
- （3）行政提案型の導入について問う。

一般(代表)質問通告書

令和 7年 8月 27日
12時 2分受付 12番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 8月 27日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 立山 稔

質問事項

1. 小郡市のランドデザインについて 【補助資料 有・**無**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

近年、小郡市においては物流業を中心とした企業の進出に始まり、コストコ小郡倉庫店や他の商業関係の企業進出はもとより、住宅地開発に関しても西鉄天神大牟田線の沿線のみならず、七夕通りや、東部地域まで含め民間住宅会社の開発意欲は高い状況であると思う。

そういった中、開発に伴う地形の変化や周辺道路、生活環境にも急激な変化が現れる。産業面での企業誘致に関してはこれまで「小郡市企業立地優遇制度」において、企業を優遇する点に関してはある程度定められているが、進出企業側に課す調整池機能や周辺環境への配慮に関しては、若干見えにくい点があるように思う。

また、住宅地開発に関しては、優遇される面や周辺環境への配慮等もわかりにくいと思う。

そして、令和5年に公表された「筑後小郡インター周辺まちづくり構想」や「小郡鳥栖南スマートインター周辺まちづくり構想」等に基づいたまちづくりに関しては、広いエリアでの面整備を考慮しなければならないため、産業ゾーン、道路や公園等を含めた公共用地、住宅地、生活利便施設等、構想に基づいた進出企業に対して小郡市としての考えを示すことも必要になってくると思う。

そこで、小郡市の市政発展のために中長期的なビジョンに基づいた、住宅地、産業用地、公園や河川等を含めたグリーンインフラ整備に関する考え方を問うと同時に、市域全体におけるランドデザインに関する考え方を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 改定前の「小郡市企業立地優遇制度」の内容について問う。
- (2) 改定された「小郡市企業立地優遇制度」の内容で特に配慮された点について問う。
- (3) 現時点での住宅地開発に関する優遇措置等について問う。
- (4) 今後の住宅地開発等に関して、子育て世代や三世帯同居等に関する優遇措置を考慮するような考え方があるかどうかを問う。
- (5) 産業用地や住宅用地の開発に伴う周辺環境に与える影響緩和のために、公園・緑地帯、道路、河川等を含め、グリーンインフラに対する整備を行うような考えがないのか問う。
- (6) 上記のグリーンインフラ整備に対する財源の考え方について問う。